



上越市立稲田小学校

稲田小だより

令和 6 年度 No. 2

令和 6 年 5 月号

◎あたり前のことを あたり前に

校長 遠藤 和英

5月の全校朝会で次のような話をしました。

最近の様子でうれしいと感じたことがあります。それは、あいさつがとってもよくなってきたことです。先日も、学校にいらしたお客様が、「今、学校に入ったら、さわやかに『こんにちは』と言ってくれた子がいて、とっても気持ちがよかったです」と話してくださいました。また、毎朝のあいさつでも、ある先生が「玄関の外まで明るい子どもたちのあいさつが聞こえてきて、いい気持ちになりました」と教えてくれました。

前にもお話ししましたが、私は、あいさつは、人とつながりをもつ第一歩だと思っています。ただし、人とあいさつすることは決して特別なことではありません。むしろ、あたり前のことだと思っています。そして、この、あたり前のことをきちんとすることが、実はとっても難しいことだとも思っています。さて、みんなは、あたり前のことがちゃんとできるでしょうか？

ある高校のバスケットボール部の話です。その高校は、監督がバスケットを上手に教えてくれるので、大会でいつも優勝するような高校でした。4月になり、その高校のバスケットボール部にも、たくさんの1年生が入ってきました。みんなバスケットがうまくなりたい、早く監督にいろいろ教えてほしいと思っていました。ところが、その監督は、3年生や2年生には細かくいろいろなことを教えてくれるのですが、1年生には5月になっても6月になっても、ちっとも教えてくれません。いつまでたっても教えてもらえません。

ある日、1年生の代表が、監督のところに行き、「どうして私たちにバスケットを教えてくれないのですか？」と質問してみました。すると、監督は、こう言いました。「バスケットボールをうまくなることは、簡単ではありません。あなた方1年生の普段の姿を見ていると、私には、とてもそれができないように思えるのです。だから、バスケットを教えるのはまだ無理だと思って、何も教えないのです。」

1年生の代表は、「私たちはやる気があります。どうぞ教えてください。」と食い下がりました。監督は、「練習はいつも楽しいことばかりではありません。それこそ、あたり前のことを、ばかにしないで、毎日毎日、繰り返していくことが大切なんです。あなた方1年生は、あいさつができていない。また、シューズを脱いだ後もバラバラで全然そろっていない。気持ちさえあればすぐにやることのできることをできていない。あいさつや靴をそろえることもできないあなた方に、バスケットの毎日単調な繰り返しの練習を我慢して続けることはできないし、難しい技術を教えてもあきらめてできないと思うから教えないのです。」と答えました。さあ、みなさんはどう感じましたか？

私は、あたり前のことがあたり前にできることが、本当にすごいことだと思っています。そのことを私は「ＡＢＣＤのきまり」と呼んでいます。Ａは「あたりまえのことを」、Ｂは「ばかにしないで」、Ｃは「ちゃんとできる人が」、Ｄは「できる人」です。大人になっても、あたり前のことができる人は素敵だなと思います。ぜひ、稲田小のみんなにも、「ＡＢＣＤのきまり」を意識してほしいなと思います。いいですか「あたりまえのことを ばかにしないで ちゃんとできる人ができる人」ですよ。そのことが必ず、稲田小学校の目標である「人の役に立つ子」につながっていると思います。

例えば、授業のはじめと終わりのあいさつがきちんとできていますか？ 教室で靴をきちんと履いていますか？ 廊下を走らずにきちんと歩いていますか？ 友達や家の人との約束を守っていますか？ 大丈夫でしょうか？ ぜひ、あたり前のことをばかにしないでちゃんとできる、できる人になってください。

今日は、あたり前のことがきちんとできることは、とても素敵なことで、それが稲田小学校の目標である「人の役に立つ子」につながるという話をしました。

以上が子どもたちに話した内容です。子どもたちには、ぜひ、「あたり前のことが、あたり前のようにできる」素敵な大人になってほしいと強く感じています。ただ、話を聞いたからといって、すぐに実際の行動が伴うはすがありません。すぐには身に付かないかもしれませんが、素敵な大人に近づくためにも、折に触れて意識させていきたいと思います。また、もちろん子どもだけでなく、私自身も自分があたり前のことがきちんとできているか気を付けながら、子どもと接していきたいと思います。教師も親も、子どもの身近にいる最大のモデルですから。

稲田小学校ＡＢＣＤ

A:あたり前のことを

B:ばかにしないで

C:ちゃんとできる人が

D:できる人(すごい人)

◎学校運営協議会を実施しました

「学校運営協議会」という組織をご存知でしょうか？ 地域の方や保護者の代表、学識経験者などの方に学校においていただき、ご要望やご意見をうかがって学校運営に反映させるとともに、地域との協働による学校づくりを行うことを目的として設置されています。稲田小では、年３回の話し合いの機会を設けています。

５月１５日、今年度第１回目の協議会を行いました。実際の授業の様子を見ていただいたあと、今回は、グランドデザインと学校の運営方針について説明し、意見交換を行いました。授業中の子どもたちの様子から、「授業中の有意義な対話の在り方」「適切な指導や注意の仕方」などの話題で意見交換をすることができました。

協議会の後半は、学校から今年度の生活科と総合的な学習の活動について説明しました。委員の皆様からは、子どもたちが自分たちの住んでいる地域をよく知り、地域に自信をもち、地域のよさを発信できるような活動に取り組んでほしいというご意見をいただきました。